

受験生の皆さんへ

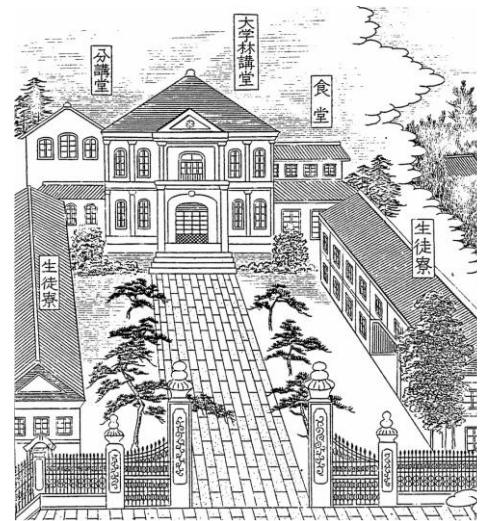
龍谷大学で**仏教史学**を学んでみませんか！

仏教史学という学科や専攻を設置している大学は、日本では他に例がありません。

しかし、**歴史学科 仏教史学専攻**は、龍谷大学ならではの学問領域を専門に学ぶユニークな専攻として長い伝統を有し、幾多の優秀な卒業生を輩出してきました。

仏教史学専攻にご関心がある方は、ぜひ一度、下記のアドレスの **オリジナル・ホームページ** をご覧ください。

<http://ryukoku-buddhism.jp/>



明治12年落成の大宮キャンパス(重文)

仏教史学専攻 Q & A

Q1 どんなことが学べますか？

(A) 仏教は人間が生きていく上で、さけて通れない「苦」を深く見つめ、これに対処する道を教えてきました。時代や地域を超えた仏教の教えと、それを奉じた人々の歴史的活動(思想・文化・美術・布教・救済事業など)を広く学ぶことができます。

Q2 僧侶になろうとする人が入学するのではないのですか？

(A) そんなことはありません。定員 65 名のうち、お寺の出身者が5、6名ほどいますが、その他はすべて在家の方です。また教宗派も関係なく学んでいます。

Q3 どんなところに就職できますか？

(A) 卒業生は、一般企業をはじめ、公務員・教員・学校事務職員や博物館学芸員、寺院など多方面で活躍しています。また仏教史学専攻は、文学部の学科・専攻のなかで常に高い就職率を維持しています。(裏面をご覧ください)

Q4 大学院には進学できますか？

(A) 本学の大学院(文学研究科)には仏教史学専攻はありませんが、専門によって日本史学専攻か東洋史学専攻に進学することになります。仏教史学専攻の大学院進学率も他学科・専攻よりも高い水準にあります。専攻出身の大学院生と非常勤講師の氏名・略歴を上記ホームページで紹介しています。

Q5 日本史学専攻・東洋史学専攻・文化遺産学専攻との併願はできますか？

(A) 2 教科型公募推薦入試、一般入試、センター試験利用入試では併願することができます。併願方法など詳しくは入試ガイドをご覧ください。

2016 年度卒業生からのメッセージ

①出身高校 ②卒業後の予定

大野 翔平

私は仏教史学を専攻して、歴史を学ぶ中で新たな発見や知識を得ることができた時、研究の楽しさを感じます。また自分自身について考えることのできる学問であるとも感じています。これから生きていく上で大切なことを学ぶこともできると思います。

- ①帝京大可児高校（岐阜県）
- ②近畿日本鉄道（内定）

金田 里香

大学4年間を通して仏教史を学び、好きな日本の歴史を今までと違う視点で考える楽しさを学びました。この学びを活かすことができ、教員採用試験に合格することができました。大学で学んだことを忘れずに、教師として頑張ります。

- ①山田高校（大阪府）
- ②大阪府教員採用試験高校地理歴史合格

堀川 廣大

私の実家は寺院で、その跡を継ぐために龍大に入学しました。仏教史学という学問分野はあまり聞き慣れないかもしれませんが、仏教について歴史学の視点から広く学べるのが、この専攻ならではの魅力であると感じています。

- ①高田高校（新潟県）
- ②J Aえちご上越（内定）

西口 愛海

日本古代史と仏教に興味があり、入学しました。仏教史という名前を聞くと、仏教の事だけを学ぶ学科だと思われるかもしれませんが、そんな事はありません。仏教を軸に、歴史や思想など幅広く勉強ができるので、歴史好きにはオススメのコースです！

- ①大阪国際大和田高校（大阪府）
- ②三井住友銀行（内定）

2017 年度卒業生からのメッセージ

①出身高校 ②卒業後の予定

曽根 佑規

仏教史学といわれると「？」がつくかと思います。私も最初はそうでした。しかし、実際に勉強してみると、仏教と日本史の繋がりやの深さにどんどんハマっていきます。また、博物館課程の十二月展を開催できる学芸員資格習得など、歴史好きには堪らない学習の場になることと思います。

- ①上宮高校（大阪府）
- ②龍谷大学大学院進学（内定）

藤原 有希

仏教史学の魅力は、今までに学習した歴史とは異なる視点で学べることです。私は卒論で出身地に関するテーマにしたので、郷土の新たな一面を知ることができました。龍谷大学にしかない専攻なので、他の人とは違う視点で歴史を学んでみたい方にオススメです！

- ①総社南高校（岡山県）
- ②国立大学法人岡山大学（内定）

信川 仁美

仏教史学専攻で仏教を軸に今までとは違う視点で歴史を学ぶことができました。また、和楽器を演奏する邦楽部に所属し、普段馴染みの無い伝統芸能の世界に触れることができました。忙しい日々が続きましたが、興味のある分野に熱中し、充実した学生生活を送ることができました。

- ①星陵高校（兵庫県）
- ②高松建設株式会社（内定）

西谷 理央

歴史と神社仏閣に興味があったことから、仏教と歴史を同時に学ぶことができる仏教史学専攻に心を惹かれ入学しました。授業では歴史や仏教に限らず幅広い分野の講義が開講されています。日々新たな発見や学ぶ喜びを感じることができる仏教史学専攻は、大変魅力的だと思います。

- ①清真学園高校（茨城県）
- ②建通新聞社（内定）

※データは、各年2月段階のものです。

2018 年度卒業生からのメッセージ

①出身高校 ②卒業後の予定

依田 桂

大学で学ぶ歴史は、高校までとは異なり、自分で調べたい研究対象を決めて調べていくものです。仏教史学は、仏教が中心とはなるものの、幅広く地域や人物について研究することができ、きっと自分の興味ある議題が見つかるはずです。少しでも興味のある方は、仏教史学専攻で学んでみてはいかがでしょうか。

①西乙訓高校(京都府) ②奈良県庁(内定)

中井 歳三

仏教史学を専攻し、仏教を通じて歴史と人の生き方を学びました。仏教史は、多くの知識等が求められますが、様々な視点で考える力がつき、歴史をより楽しめるようになったと感じています。この専攻での学びは、4年間を通じて、充実したものでありました。

①伊勢高校(三重県)
②三重県飛島村役場(内定)

宮本 かれら

私は仏教史学専攻で中国の仏教美術について学びました。大学で吹奏楽部に所属していたこともあり、伎楽天という楽器を手にする天部の造像表現を調べることは楽しかったです。大学では、勉学だけでなく、様々な経験を通じてたくさんのことを吸収して素敵なキャンパスライフを送って欲しいです。

①江の川学園石見智翠館高校(島根県)
②ワコール(内定)

篠原 央

龍大にしかない仏教史学専攻で、様々なことを経験することができました。仏教史学合同研究室では、院生の方々に研究方法について相談し、とても親身に指導をしていただきました。春からは、大学での学びを活かしながら、子どもたちに色々なことを伝えることのできる教員になれるよう勉強をしていきたいです。

①筑紫女学園高校(福岡県)
②福岡県教員採用試験小学校教諭(合格)

2020 年度卒業生からのメッセージ

①出身高校 ②卒業後の予定 ③卒論テーマ

高木 翔子

仏教史学で仏教の視点から歴史を学ぶと、これまで教科書を中心に学んだ歴史感が驚くほど変わりました。歴史と仏教の関わりは学べば学ぶほど奥深くゴールなく広がります。私はこの4年間で同級生や先生方に恵まれて、楽しくかつ深く歴史を学ぶことができたので、ぜひ龍谷大学ならではの仏教史学で歴史を学んでほしいと思います。

①安田女子高等学校(広島県) ②本願寺宗務機関(内定) ③本願寺教団の東西分派とその背景

山本 祐樹

仏教史学は、「仏教とは何か」という問いを歴史のなかで明らかにしていく学問です。私自身もその問いを大事にして学んできました。各時代・地域の人々にとって仏教とは何であったかを考えることを通して、自らの生き方も学ぶことができるのが仏教史学の大きな特徴です。龍谷大学ならではの学びを経験してみたいかがでしょうか。①大阪国際大和田高校(大阪府) ②龍谷大学大学院進学 ③親鸞の神祇観の歴史的意義

阿部 百花

仏教史は歴史学の中でも異色で、思想や概念に対して難しく感じることもあると思います。でも目を向けるところは、宗教の部分だけではありません。客観的に向き合うことで、現代の問題と関連つけて考えることができ、日常の行動に新しい発見を見つけることができる面白い分野です！自ら悩み考える大学生の時期にこそ学ぶべき学問になるはずです！

①山形北高等学校(山形県) ②株式会社ローソン(内定)
③古代における性差別観念と女性天皇・天皇「中継ぎ」の役割を中心に

浅野 凌佑

仏教史は正直、入学するまで馴染みがない分野でした。しかし、馴染みが無い分、新しく知識を学び、様々な視点で物事を考える事で、主体的に行動する力を養う事が出来ると思っています。大学4年間で学んだ事は今後の人生でも活かされるのではないかと思います。

①武義高等学校(岐阜県) ②一条工務店(内定)
③行基と律令国家の関連性について—奈良時代における公・私社会事業を中心に—

仏教史学専攻教員紹介



林 行夫（はやし ゆきお）教授（南伝仏教・上座仏教徒社会史）

【経歴】龍谷大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学、学術博士（京都大学）、京都大学名誉教授。国立民族学博物館助手、京都大学教授（東南アジア研究所）、京都大学地域研究統合情報センター長等を経て現職。

【著書】『ラオ人社会の宗教と文化変容』、『新アジア仏教史 4（スリランカ・東南アジア）』、『境域の実践宗教』、『岩波講座・宗教 6（絆）』、『仏教の受容と変容 2（東南アジア編）』等、【論文】「明治期日本人留学僧にみる日＝タイ仏教交流の諸側面」、「生きている宗教と現代世界」等。



中西直樹（なかにし なおき）教授（日本近世・近現代仏教史）

【経歴】龍谷大学大学院文学研究科修士課程修了、文学修士。京都女子大学事務職員、筑紫女学園大学准教授等を経て現職。

【著書】『日本近代の仏教女子教育』、『仏教と医療・福祉の近代史』、『仏教海外開教史の研究』、『戦前期仏教社会事業の研究』、『植民地朝鮮と日本仏教』、『植民地台湾と日本仏教』、『近代西本願寺を支えた在家信者―評伝松田甚左衛門一』、『仏教英書伝道のあけぼの』、『明治前期の大谷派教団』、『新仏教とは何であったか―近代仏教改革のゆくえ―』等。



市川良文（いちかわ よしふみ）准教授（北伝仏教・西域仏教史）

【経歴】龍谷大学大学院文学研究科博士課程単位取得、文学修士。

【著書】『増補改訂本願寺史』第三巻【論文】「大谷探検隊と本派本願寺」、「カローシュティー文字資料について」、「mahamta / maha- を冠する Cojhbo 官について」、「職掌からみたカローシュティー文書中の Cojhbo と漢語の主簿」「ニヤ遺跡をめぐる諸問題」等。



斎藤信行（さいとう しんぎょう）講師（日本中世・近世仏教史）

【経歴】龍谷大学大学院文学研究科博士課程単位取得、文学修士。

【著書】『真宗の歴史的研究』、『歴史のなかの仏教』、『日本仏教の受容と変容』

【論文】「初期真宗における門流の形成と信仰の問題：高田門徒を中心として」、「寛正の法難」再考：蓮如の真宗とその社会性、「真宗史上における『歎異抄』の位置」「親鸞の信仰とその歴史性」等。



北畠浄光（きたばたけ じょうこう）講師（日本古代・中世仏教史）

【経歴】龍谷大学大学院文学研究科博士課程単位取得、文学修士。

【著書】『歴史のなかの仏教』【論文】「法然浄土教とその実践性」、「法然による「造悪無碍」批判の意義」、「証空における法然浄土教の継承とその内実」、「隆寛の専修念仏とその社会的性格」、「法然没後の専修念仏：良忠の東国教化を中心に」、「撰関期における天台教団と聖」、「撰関期における布教者の役割：行円・覚超・鎮源の活動を中心に」等。